

皆さんに毎年受診していただいている特定健診は、メタボリックシンドロームを早期に発見し、生活習慣病を未然に防ぐために実施されています。

実はこの特定健診では、メタボリックシンドロームのほかにも慢性腎臓病(CKD)も早期発見することができます。

■燕市国民健康保険では、特定健診結果から慢性腎臓病(CKD)を早期発見し、重症化を防ぐ取り組みを、「燕市医師会」との連携により平成25年度から実施させていただくことになりました。

慢性腎臓病(CKD)とは・・・

慢性腎臓病(CKD: Chronic Kidney Disease)とは、慢性的にたんぱく尿があるなど、腎機能が低下した状態をいいます。

腎臓は一度機能が低下すると、もとに戻りにくい臓器です。そのため、CKDが進行し重症化すると人工透析が必要になります。

また、CKDは、脳卒中や心筋梗塞などの発症リスクを高めます。

CKDの発症には、食生活や喫煙、飲酒、運動不足などの生活習慣病との関係が大きく影響しています。生活習慣が悪いと、メタボリックシンドロームや糖尿病・高血圧などの生活習慣病になり、それらが腎機能の低下を加速させます。

CKDの重症化を防ぐには？・・・ 燕市国民健康保険と「燕市医師会」 との連携による取り組み

腎臓の異常を早く発見するためには、まずGFR値(腎臓の機能を示す指標)や尿検査結果を知ることが必要です。推算GFR値と尿検査結果は、いずれも燕市国民健康保険特定健診で分かるため、その健診結果およびレセプトデータから、適切な医療が必要な人を特定し、「医療機関への受診勧奨」を目的とした保健指導を、該当者への個別訪問を基本に実施します。

◆保健指導のイメージ



ひとくちにCKDといっても、症状の軽いものから重いものまで様々で、軽いうちは自覚症状は、ほとんどありません。CKDは予防が可能であり、より早期に治療を開始すれば重症化を防ぐことができます。

CKDは年々増加しています。今後、透析療法が必要になる人を増やさない、また、脳梗塞・心筋梗塞等を起こさないためにも、CKDの早期発見・早期治療に取り組むことが大切です。

燕市国民健康保険にご加入の皆さまへ

特定健診を受けて、 慢性腎臓病(CKD)を 予防しましょう！

● 問い合わせ

燕市役所保険年金課 国係係

☎ 0256-77-8132 (直通)

